# 板城西っ子

東広島市立板城西小学校
学校だより
校長　増上　正美
令和５年7月20日

**学校教育目標**　　夢と志をもち「自分育て」をする子どもの育成
～かかわりあいながら「いいちえ」「いいあせ」「いいこころ」で自分を伸ばす子ども～

夏休みがすぐ目の前までやってきました。7月19・20日の希望個人懇談会は，お子さんの担任としっかり情報共有できる有意義な時間になったでしょうか。

今年度の夏休みは40日間あります。ここ数年中止されていたことが、今年はいろいろ再開されます。地域の夏祭りも復活し，８月５日に開催されます。PTA役員の皆様には準備から当日までお世話になり，本当にありがとうございます。また，８月１日に市内の小学生水泳記録会が4年ぶりに行われ，高学年は記録会に向けた強化練習を始めます。

## さあ　時間の使い方　どうする？

大人も子どもも同じ，どんな人も同じように与えられているもの。そして，お金で買えないものが，時間ですね。時間はみんな共通の１日24時間です。ふだんは学校で過ごす時間が１日の大部分を占める子ども達ですが，夏休みはたっぷり時間があります。24時間×40日は960時間または57600分・・・。

さあ，何をしますか？　気が付いたら，ゲームばかり，宿題もどっさり残っている!!と慌てないようにするための方法をお伝えします。

★ <u>１日の過ごし方の計画を立てる。</u>
　学校の日課表のように大まかでいいので時間割を作ってみましょう。
　とくに起きる時刻と寝る時刻は大切に！

★ <u>決まっている行事を予定表に書く。</u>
　楽しみにしているイベントや宿題の予定を記入していきましょう。
　登校日は8月4日と8月21日です。

★ <u>夏休みにやりたいことを書き出す。</u>
　長い休みだからこそ，やれそうなことを考えてみましょう。

日課表や予定表，やりたいことを書いてみると・・・ワクワクしてきませんか？

書くことで，自分が夏休みをどう過ごしたいかが視覚的にはっきりします。40日後には，「いい夏休みを過ごせたな～」と笑顔でいたいですよね。だらだらとした時間を過ごしていたらきっと満足感はないでしょう。そして，書いたものをいつも見える場所に置くことで，自分の初心を忘れません。達成したことはシールを貼ったりマーカーペンを引いたりし，さらにやりたいことを加えていくのもいいですね。

40日間を親子で有意義な時間にしてください！

# 7月も　元気！　笑顔！　の子ども達

水泳学習が始まり1か月が経ちました。下の写真は，1年生の学習の様子です。水泳学習が始まった頃は，浅い水位で楽しく水慣れからスタートし，まだ顔付けができない子もいました。1か月後・・・，顔付けができなかった子も，もぐったり，浮いたり，けのびで進んだりしていました。成長した姿がたくさん見られ，うれしくなりました。自分の努力で，できなかったことができるようになる経験は，大事です。「やるのは自分。」と声にし，自分が決めためあてを達成しようと一生懸命取り組む姿は心から応援したくなります。もちろん頑張っているのは，2年生から6年生も同じです。

成　長

6月の水泳学習の様子

7月13日の水泳学習の様子

プール納めは8月31日です。夏休み明けに記録を取ります。

夏季休業中のプール開放監視員へのご協力ありがとうございました！監視員をしてくださる方が集まりました。

## 地域を学ぶ・地域で学ぶ

５月に、地域の多くの皆様に応援していただいて1，2年生とさくら学級、ひまわり学級の子どもたちが植えたサツマイモ、かぼちゃ、スイカ、ズッキーニがどんどんと育ってきました。先日、畑の様子を時々見ているさくら学級とひまわり学級の子どもたちが大きく実ったズッキーニを収穫しました。とてもうれしそうでした。ひまわり学級の子どもたちは自分たちで育てたジャガイモと玉ねぎも収穫しました。収穫したジャガイモでサラダを作りました。サラダに入れる具材をお店に行って買いました。買い物をする子どもたちは真剣そのものでした。

７月１２日（水）に3年生が福原産業（株）に見学に行きました。2台の車で送迎をしてくださいました。事務所2階で仕事の内容を教えてもらった後、子どもたちはまた車に乗って砕石を取り出す現場の様子を見学しました。掘削されている山の下に広がる広場には重機が勢ぞろい。それぞれの重機の働きを教えてもらい、運転席にも乗せてもらいました。また、石がいろいろな大きさになっていく工場の様子も見せてもらいました。見学後には事務所に戻り、子どもたちはたくさん質問をしました。

子どもたちが自分の良さや可能性を分かり、周囲の人々と力を合わせ、社会の変化を乗り越えて豊かな人生を切り拓いていけるようにする。今、学校に求められていることです。板城西小学校は、地域の皆様に支えていただきながら、これからの社会を担っていく子どもたちの育成に努力しています。

コミュニティ・スクール推進員　宗近秀夫